2010 年 6 月 1 日

東京大学大学院 人文社会系研究科
次世代人文社会学育成プログラムによる海外派遣 帰国報告

1. 派遣生の基本情報

野村悠里（文化資源学研究専攻文書学専門分野　博士課程三年）

平成21年度フランス個人派遣

2. 研究テーマ

17、18世紀におけるフランス製本史研究

Étude de l’histoire de la reliure en France aux 17e et 18e siècles

3. 派遣先での活動

1) 派遣先の基本情報

フランス国立中央文書館（Archives nationales）

シャンティイ城図書室（Bibliothèque du château de Chantilly）

パリ装飾美術館図書室（Bibliothèque du Musée des arts décoratifs）

2) 派遣期間

2010年3月30日～5月28日（60日間）

4. 主な研究成果

1) 当初の計画概要

本研究調査は、17、18世紀フランスの書物生産について、フランス国立中央文書館の所蔵する革命以前の古文書資料を中心に精査し、特にパリ大学区における製本技術の伝承過程を明らかにすることを目的とする。また併せて、王室製本師パドゥルーをはじめとするパリ製本業者の作品の実地調査を行ない、装幀技術の変容を分析することも課題とする。

2) 実際に達成された成果

第一に、国立中央文書館では、①王宮官職文書（Série O. Maison du Roi et de l'Empereur ）、②シャトレ裁判所文書（Série Y. Châtelet de Paris et Prévôté d'Île-de-France）、③パリ高等法院文書(Série X. Parlement de Paris)を対

象に、パリ大学区の王室製本師および一般製本業者に関する古文書調査を行った。限られた時間ではあったが、セーヌ河南東部における一般製本業者、箔押し業者に関する遺産目録の史料群の所在を確認することができた。第二に、パリ装飾美術館図書室では、箔押し道具の競売パンフレットおよび書物の競売カタログについて調査を実施した。第三に、シャンティイ城（フランス学士院）の所蔵するオマール公の蔵書について、王室製本師パドゥルーを中心に作品の実地調査を行なった。また、これらの当初の研究計画に加えて、フランス国立図書館（Bibliothèque nationale de France）、国立古文書学校（École nationale des chartes）における文献調査を実施した。

3）今後の研究展望

今回の調査において所在確認をすることのできた一般製本業者の遺産目録は、フランス製本史においては扱われていない新しい史料群である。これらの史料の検証と分析を行うことで、フランス革命以前のパリの製本業と箔押し業のネットワークや分業の実態の一端が明らかになると考えられる。史料の位置づけを明確にし、パリ大学区における製本業者の装幀技術の実態を解明していきたい。